

すずらん

西城市民病院だより

第17号
2015.5

庄原市立西城市民病院

広島県庄原市西城町中野1339番地
TEL:0824-82-2611(代)
FAX:0824-82-2012

皆様には、平素から庄原市立西城市民病院の運営に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。



庄原市病院事業管理者
西城市民病院長

看護体制や病床変更、巡回診療開設、訪問看護の充実、介護予防や健診事業の充実等、具現化にけ取り組んでおります。

庄原市で唯一の公立病院との役割を模索し続けながら、業管理者としての重責を胸に、つき続き緊張感をもつて経営改革に取り組んでまいります。

病院理念である「市民の皆さまが安心して暮らせる心の支えとなる病院」の実現を目指し、職員一丸となつて頑張つてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【庄原市集团健診(西城市民病院)】

健診の内容	対象者 (年齢は平成28年3月31日時点)	個人負担金	
		庄原市国保	国保以外
基本健康診査 (特定健診)	40歳以上の庄原市国保の方	無料	一
	20歳以上39歳以下の庄原市国保の方 後期高齢者医療の被保険者		1,600円
	40歳以上の社会保険等被保険者	加入する医療保険者 によって異なります	
肺がん検診	40歳以上の方 または 20歳以上の庄原市国保の方	300円	500円
胃がん検診		1,600円	2,500円
大腸がん検診		200円	300円
乳がん検診	40歳以上の女性 (2年に1回です)	600円	1,000円
子宮がん検診	20歳以上の女性	500円	800円
骨密度検診	40歳以上の女性		1,000円
前立腺がん検診	50歳以上の男性		500円
B型・C型肝炎ウイルス検査	40歳の方、または41歳以上70歳以下で 過去に検査を受けたことがない方。		1,000円

「庄原市生活習慣病健康診査 集団健診」を
西城市民病院で実施します！

実施日：平成27年6月2日～平成28年3月17日の火・木曜日実施予定
今年度から、「平成27年度庄原市生活習慣病健康診査集団健診」を西城市民病院で実施することにいたしました。これまでどおり庄原市国保加入者を対象とした人間ドックや特定健診も実施いたします。
健診によるがんの早期発見・早期治療や、メタボリックシンドromeの予防はとても大切です。
市が指定する健診の一次申し込みの期限は経過しましたが、集団健診について申しこみは、庄原市役所西城支所市民生活室保健福祉係（「あわせ館」）または本庄保健医療課へお願いいたします。

西城市民病院は1学年を対象とした授業を今年度10回担当し、医師や看護師などが教壇に立ち、講師を務めます。授業は、5月7日(水)からスタートし、初日は郷力院長が地域包括医療・ケアをテーマに、講義をしました。27名の生徒は、院長の話を熱心に傾聴していきました。

医療や介護等に興味や関心を持つことで、将来を担う人材が育つていけば幸いです。

今回の取り組みを通して、この地域をもっと好きになつてほしいと願っています。

西城紫水高等学校では、特色のある学校づくりの一環として、「特色のある教育課程」をとりあげ、「医療・福祉」を中心としたカリキュラムを授業に導入し、西城市民病院や介護事業所が連携して支援することになります。

西城紫水高等学校

**特色のある学校づくりで
連携・支援!**



基本理念

～市民の皆さまが安心して暮らせる心の支えとなる病院に～

庄原市の行政施策の一環として存在し、常に市民の皆さまの健康な生活を支える中心的な役割を果たすために、医療・保健・福祉・介護のサービスの提供を担います。

基本方針

1. 患者さま第一の、満足いく医療を提供します。
 2. 保健・医療・福祉と連携し、地域で安心して暮らせるよう支援します。
 3. 救急医療を充実し、安全で質の高い医療を提供します。
 4. 患者さまのプライバシーを尊重し、わけへだてのない医療を提供します。
 5. 常に自己研鑽に努め、明るく働きがいのある職場環境づくりをめざします。





整形外科部長
本山 康三
整形外科全般を診察しています。



内科部長
田中惣之輔
内科疾患全般を診察しています。



副院長 外科医師
武田 晋平
外科疾患全般を診察しています。



病院事業管理者
院長 内科医師
郷力 和明
内科疾患全般を診察しています。

西城市民病院

医師紹介

今年度もよろしく
お願ひいたします



内科医師(非常勤)
萬 秀男
毎月第1水曜日に診察しています。



内科医師(非常勤)
満永 幹雄
毎月第3水曜日に診察しています。



内科医師(非常勤)
森田 好美
毎月隔週の火曜日に診察しています。



内科医師(非常勤)
大月 鷹彦
毎月隔週の火曜日に診察しています。



内科医長
吉光 成児
内科疾患全般を診察しています。



歯科部長
柴田 曜輝
歯科全般を診察しています。



歯科医師(非常勤)
箸方 厚之
毎週木曜日に診察しています。



歯科医師(非常勤)
峯岡 茜
毎週月曜日に診察しています。



脳神経外科医師(非常勤)
荒木 攻
毎月第1金曜日の午後に診察しています。



精神科医師(非常勤)
淀川 良夫
毎週木曜日の午後に“物忘れ外来”として診察しています。



婦人科医師(非常勤)
村尾 文規
毎月第2・第4木曜日の午後に診察しています。



整形外科(非常勤)
長谷川頼彦
毎週金曜日に診察しています。

新しい力が加わりました

新規採用職員・異動のご紹介

新規職員紹介!



リハビリテーション科 作業療法士 **毛利 綺子**

4月から作業療法士として勤務をさせていただいております毛利です。まだ未熟ではありますが、患者様一人一人との関わりを大切にできる作業療法士を目指し日々精進していきます。よろしくお願ひいたします。



介護老人保健施設せせらぎ 介護福祉士 **白石 萌華**

はじめまして。4月からせせらぎで勤務しております、白石萌華です。約1か月経ちますが、覚えることも多く、いっぱいいっぱいの状態です。しかし、スタッフの皆さんや利用者の皆さんからいつも元気をもらっています。早く職場に慣れることを第1に、これから頑張っていこうと思っていますので、よろしくお願ひいたします。



3階病棟 看護助手 **小田 静香**

この度、西城市民病院でお世話になります。今は仕事を覚えることで精一杯ですが、やさしさを忘れずに頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



外部からの人事異動

庶務係長 **田邊 秀美**

この度、総領診療所から庶務係に異動してきました。西城での勤務は初めてで診療所勤務との違いにもまだ戸惑いがありますが、西城市民病院の一員として頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

病院ボランティア 外来受診サポーター募集

●お問い合わせ・申し込み先／庄原市立西城市民病院 事務局庶務係or地域連携室 TEL:0824-82-2611

庄原市立西城市民病院では、病院内でボランティアとして外来患者さまのお手伝いをしていただく「外来受診サポーター」を募集します。皆さまの温かいご支援をお待ちしています。





中央が大田仁史先生

シルバーリハビリ体操をはじめよう！

平成27年3月28日(土)、庄原市民会館において、介護予防講座が開催され、約500人の参加がありました。

初めに庄原市シルバーリハビリ体操普及啓発事業プロジェクト協議会会長である西城市民病院の郷力院長が、市からの提唱として「庄

原市の高齢者をとりまく現状と新たな取り組み」と題して、介護予防事業を積極的に進める必要性について話されました。

その後、シルバーリハビリ体操の考案者である茨城県立健康プラザの大田仁史先生から体操の意義について講演がありました。



提唱者の郷力院長

今年も笑顔の しあわせ館 まつり♪



第16回しあわせ館まつりが、平成27年4月18日(土)、「しあわせ館」において開催されました。今年は、「老いも若きも元気！～ありのままの笑顔で輝こう～」をテーマとし、約400人の方々で大いにぎわいました。

ひだまりステージでは、子どもたちや高齢の方々、ボランティアの皆さんの楽しい発表で盛り上がり、展示や食事などの各種コーナーは日ごろのボランティア活動の披露の場として、みんなで絆を深め、笑顔あふれる一日となりました。

「しあわせ館まつり」は住民参加・参画型のイベントとして地域に定着してきました。元気づくりの館である「しあわせ館」と疾病対策の館である「西城市民病院」が両輪として、地域の方々のしあわせを支えています。さらに地域包括ケアの拠点として、住民の安心を提供しています。



巡回診療スタート！

(旧赤木内科医院跡地)

平成27年2月末日をもって赤木内科医院が閉院されたことに伴い、当該地域の医療を継続的に確保するため、西城市民病院では移動診療車を活用した巡回診療を開始しました。

3月25日(水)の初日には、三坂方面からのバス利用、自家用車や徒歩で計6名の方が来院されました。

当日受診された岡田正尊さんは、「病院へ行くと半日仕事になります。赤木先生がやめられたので、不安でしたが、診療車が来るということで気分が楽になりました。診療時間が短く、薬もすぐに出してもらえたので、良かったです。」と喜ばれています。岡田厚子さんは、風邪気味で来院。「インフルエンザの検査をしてもらいました。しんどかったので助かりました。家から近いので、便利です。」と、安心した様子でした。

●問い合わせ先／庄原市立西城市民病院事務局庶務係
TEL 0824-82-2611



バス内の診察



旧赤木医院で薬の受け渡し



- 診療日 毎週水曜日
- 受付時間 13時30分～15時30分まで
- 診療時間 13時30分～16時00分まで
- 内容 高度医療機器を装備した移動診療車内で、西城市民病院の医師が診療を実施
- 受付及び 待合場所 医院の建物で実施
- 持参物 受診の際は、保険証をお持ちください

皆様のご利用をお待ちしています。

これに伴い、西城市民病院は、4月1日付で、過疎地域の医療支援にあたる「へき地医療拠点病院」として、県の指定を受けました。



歯科 紹介コーナー

西城市民病院歯科は、むし歯や歯周病の治療、入れ歯の調整・新規製作といった一般治療を行っています。また地域包括医療・ケアを推進するために健診受診者への無料歯科検診、病棟入院の患者さんおよび介護老人保健施設せせらぎの入所者の方全員を対象に無料歯科検診を行っています。退院時のカンファレンスにも参加し、

多職種の方と連携して退院後も途切れることなく口腔管理が行えるよう、ご要望があれば訪問歯科診療も行っております。

その他にも審美相談、クリーニング、子どもの歯についての相談等、お口の事でなにか気になることがあればいつでも気軽にご相談ください。



前列右から、柴田歯科医師、三浦歯科技工士
後列右から、柳川歯科助手、桧田歯科衛生士、安田歯科衛生士

西城市民病院では、平成27年4月から「地域包括ケア病床」を設けています。♥

●「地域包括ケア病床」とは？

「地域包括ケア病床」とは、入院治療後、病状が安定した患者様に対して、退院支援を行うための病床です。

「地域包括ケア病床」では、病気やけがによって体力や活動が低下し、自宅等での生活に不安がある方が、安心して退院していくだけるよう、医師・看護師・理学療法士等が、お一人お一人に合せたリハビリテーション等、在宅復帰に向けた調整を行います。

当院の「地域包括ケア病床」は10床で、入院期間は60日を限度としています。

※病状が急変した場合、主治医の判断により、一般病床にお部屋を移動していただく場合があります。

●どんな場合に入院するの？

地域包括ケア病床への移動は、治療の状況等により、主治医が判断し、患者さまやご家族に提案します。ご了解をいただいた後、一般病床から地域包括ケア病床へ移動し、継続入院となります。



西城市民病院 レシピのご紹介 Cooking Recipe

蒸し鶏のケチャップあんかけ

●エネルギー:147kcal ●塩分:0.5g



●煮付け(高野・筍) ●ごま和え(ほうれん草・人参)

【材料 1人分】

鶏胸肉	60g
A 〔おろし生姜 酒	1g 1g
干しいたけ	2g
玉葱	10g
人参	10g
絹さや	3g
B 〔トマトケチャップ 酢 砂糖	5g 6g 1.2g
C 〔中華だし(顆粒) 濃口醤油 水	0.3g 1g 50cc
片栗粉	1g

【作り方】

- ①鶏肉にAで下味をつける。
- ②水で戻したしいたけ・玉葱・人参はせん切りにする。
- ③絹さやをゆで、斜めせん切りにする。
- ④人参・玉葱・しいたけの順にゆで、ざるに上げる。
- ⑤小鍋にCを沸騰させ、Bを加えて混ぜ合わせる。
- ⑥を加えてさっと煮て野菜に味をなじませ、水溶き片栗粉を加えてトロミをつけ、火を止める。
- ⑦①を蒸し器で蒸し、肉に火を通す。食べやすく切って皿にのせ、⑥をかけて③を散らす。
- 電子レンジで肉を蒸すときは、耐熱皿にのせてラップをかけ、約2分間様子を見ながら加熱をする。
- 注)火が通ってないときは再加熱をする。

ポイント

すっぱい・酸味がおいしい
酢やレモン・トマトなどの酸味をうまく利用すると、旨みがぐっと引き立つので、薄味でも満足感が得られます。

西城市民病院 ボランティア活動のご紹介

西城市民病院では、ボランティアの方々からご支援をいただいております。

西城市民病院一階外来の待合で、心を和ませてくださる展示ボランティアの活動をご紹介します。

今西の今藤雅夫さんは、「西城のどのかな景色を描き、患者さんの気持ちが楽になってほしい。」との思いで、約8年前からほぼ毎月外科外来前の待合に、西城の風景画を飾ってくださっています。

「季節やふるさとが感じられる絵を飾るようにしています。患者さんがみられて、さわやかで、すがすがしい気持ちになってほしい。心が暗くなるような絵は避けるようにしています。」と思いを語ってくださいました。



笑顔で話す今藤さん

作品を楽しみにしてくださる方の声を直接聞くこともあり、次への作品意欲につながっていることです。

西城の景色にこだわり続けて30年。「絵が描けることが幸せです。描くから心と身体が元気なんです。」と話され、「一人でも喜んでくださる方がいれば、元気な限り描き続けます。」と言ってくださいました。

心温まるご支援に感謝いたします。



5月の作品「若葉のころ(八鳥より)」



外科外来の待合にて